

道路活用実験「みっけるみなぶん」の結果について

1. みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路の再整備事業に向けた社会実験の実施について

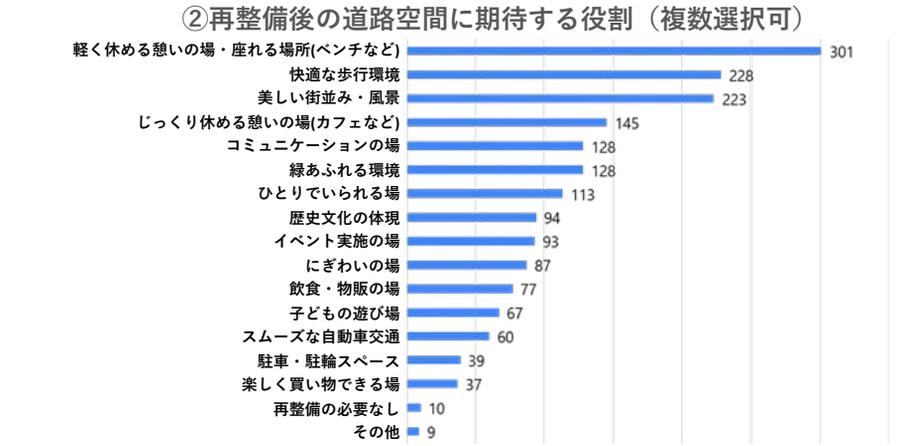
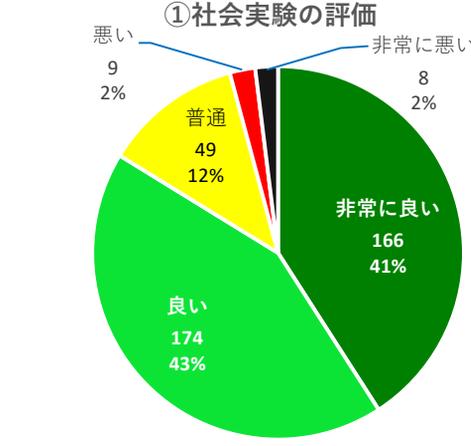
みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路の再整備の検討に先立ち、車道の一部を規制し、歩道を広げるなど、人や車の流れや沿道の利活用について検証する社会実験「みっけるみなぶん」を実施しました。
実験実施期間 令和2年11月9日-11月30日



2. アンケート調査結果について

期間中にWEB及び歩行者を対象としたアンケート調査等を実施し、約400人の利用者の皆様から回答を頂きました。アンケートの主な意見は、以下のとおりです。

- ・ 8割以上の回答者の方に**社会実験を「良い」と評価**して頂きました。
- ・ 肯定的な意見としては、**歩道が広がることへの期待**や**休憩するのにちょうど良かった**などの意見がありました。
- ・ 否定的な意見としては、**自動車渋滞への懸念**などがありました。
- ・ 再整備後の道路空間に期待する役割では、「軽く休める憩いの場・座れる場所」が最も多く、次いで「快適な歩行環境」となりました。



★利活用空間 (みなぶんでき) の利用について

- ・ 相生町一丁目交差点付近の利活用空間では、実験期間中に約3,700名の方々が利用し、賑わう場面も見受けられました。また実験前より、実験中の方が歩行者量は増加しました。
⇒回遊性向上や賑わいの創出に向け、更に検討を進めます。



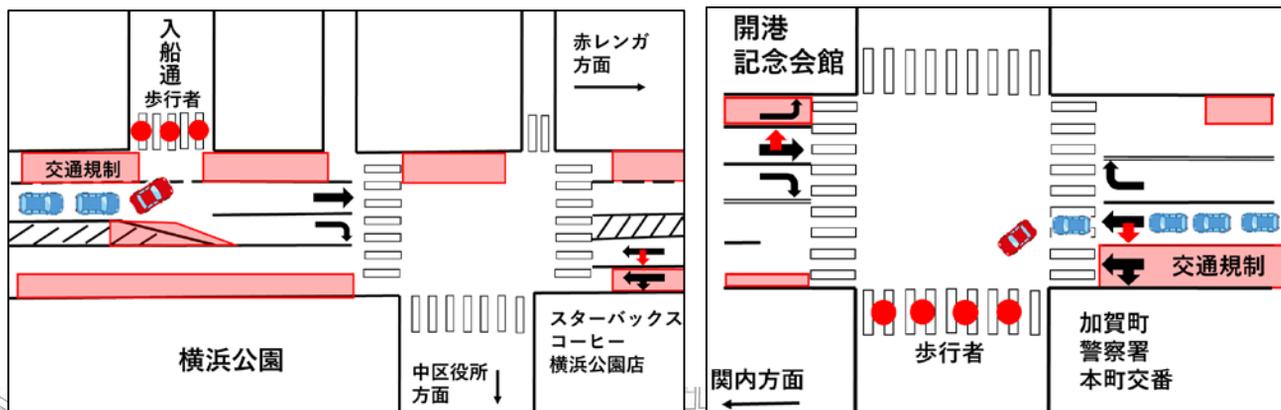
3.交通影響調査について

①自動車交通の影響について

実験前及び実験中に行った交通量調査より、各交差点の渋滞の結果を以下に示します。

- 相生町一丁目交差点（NO.5）及び県庁前交差点（NO.6）では、実験期間中の一部時間帯において、下記図のような渋滞が見られましたが、その他の交差点については交通渋滞に影響はありませんでした。
- また、実験中は事故等もなく、周辺交通を阻害するような慢性的な渋滞も確認されませんでした。
- 一方通行実験についても、渋滞などの影響は確認されませんでした。

渋滞発生の原因



※11月9日～17日まで右折レーンを全面交通規制
11月18日～30日より上記図の通り運用

←伊勢佐木長者町駅方面

→赤レンガ方面

No1

No2

No3

No4

No5

No6

- No1 不老町2丁目交差点
- No2 不老町交差点
- No3 関内駅南口交差点
- No4 ハマスタ入口交差点
- No5 相生町一丁目交差点
- No6 県庁前交差点

- 図の通り、歩行者と左折車の交錯に伴い、後続車への渋滞が一時見られました。
- 当該箇所については、車線減少のあり方も含め、今後検討をしていきます。

交通量調査日

(平日) 実験前：令和2年10月20日 (火)
(休日) 実験前：令和2年11月3日 (火：祝日)

実験中：令和2年11月19日 (木)
実験中：令和2年11月21日 (土)

4.まとめ

今回の社会実験で頂いたご意見及び課題については、対応策を検討し、設計に反映させていただきます。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

5.事業スケジュール (予定)

- 2年度：社会実験
基本設計修正
- 3年度：詳細設計等
- 4～5年度：工事

お問い合わせ先

【社会実験全般について】

【関内駅周辺のまちづくりについて】

道路局企画課

都市整備局都心再生課

045-671-2779

045-671-3963